

令和4年度 横浜市福祉調整委員会会議録	
日 時	令和5年3月17日（金）午後5時～5時35分
開催場所	調停委員会室（市庁舎15階北側）
出席者	川島 通世、小林 理、小林 幸栄、下尾 直子、松崎 尊信、山口 道宏（代表） （50音順）
欠席者	なし
開催形態	公開（傍聴者なし）
議 事	令和4年度申立て案件の振り返りについて
決定事項	なし
開 会	事務局から会議及び議事録の公開について説明。傍聴人について報告。 副局長あいさつ。
議 事	<p>（横浜市福祉調整委員会運営要綱第8条の規定により、代表委員が議長として議事を進行）</p> <p>（山口代表委員）議事進行を務めさせていただく。会議の定足数は委員数6名の過半数です。定足数に達しているの、これより会議に入らせていただく。</p> <p>本日は、申立て案件の振り返りを議題にしているが、初めに、事務局から令和4年度の業務実績報告をいただく。</p> <p>（事務局）《資料に基づき令和4年度の業務実績報告について報告》</p> <p>（山口代表委員）御質問、御意見はいかがか。</p> <p>それでは申立案件の振り返りを行う。No. 1の事例について事務局から説明をいただく。</p> <p>（事務局）《資料に基づき事例No. 1の概要について説明》</p> <p>（山口代表委員）御質問、御意見はいかがか。</p> <p>次にNo. 2の事例について事務局から説明をいただく。</p> <p>（事務局）《資料に基づき事例No. 2の概要について説明》</p> <p>（山口代表委員）御質問、御意見はいかがか。</p> <p>その他、振り返りはいかがか。</p> <p>（小林理副代表委員）昨年度、今年度の申立て案件は、委員がフル稼働でやってきたと思っている。</p> <p>また、今年の意見交換会は「介護保険と障害福祉サービスを考える対応困難事例について」という新たなテーマで、利用者のライフコースを見た時の両サービ</p>

	<p>スの接続や移行について、介護保険、障害福祉サービスのそれぞれの事業者に参加いただき、意見交換をした。一部の地域ではすでに事業者で連携し、それぞれのサービスを学びあっている状況も見えた。地域の中でこのようなことが行われていることを我々が知り、今後の申立て等にアンテナを張っていくことは大事と感じた。</p> <p>介護保険、障害福祉サービスは制度自体がもともと異なり、制度の間に落ちてしまう課題があると、社会福祉の世界では歴史的に言われていた。それぞれのサービスには状態像のとらえ方に違いがあり、特徴、例えば効果を発揮したり、持ち味を出すというようなことの違いもある中で、同じ一人の利用者がサービスを移行していくことが、個人的には課題だと思っていた。</p> <p>しかしそれだけではなく、「利用者、家族のサービスに期待するイメージ」や「サービスに対して持っているイメージ」のそれぞれの「ずれ」がサービスの移行を機に余計に生じやすくなっていくのかとも感じた。</p> <p>また、誰が両方の制度を見ながら利用者本人と一緒にサービスを決めていくのか、専門職としてのキーパーソンの問題も、だんだん見えてきた課題の一つになっているのではないか。</p> <p>これから事務局に寄せられる相談や苦情、その中から苦情申立て案件になるケース等の重要な要素になってくるのではないかと。</p> <p>(山口代表委員) 以上で令和4年度福祉調整委員会公開会議を終了する。</p>
<p>資 料 ・ 特記事項</p>	<p>1 資料 (1) 令和4年度横浜市福祉調整委員会 次第 (2) 令和4年度申立案件振り返り</p> <p>2 特記事項 なし</p>